

医師から患者さんへ

# ノルスパン<sup>®</sup>テープを 導入する際の説明事項



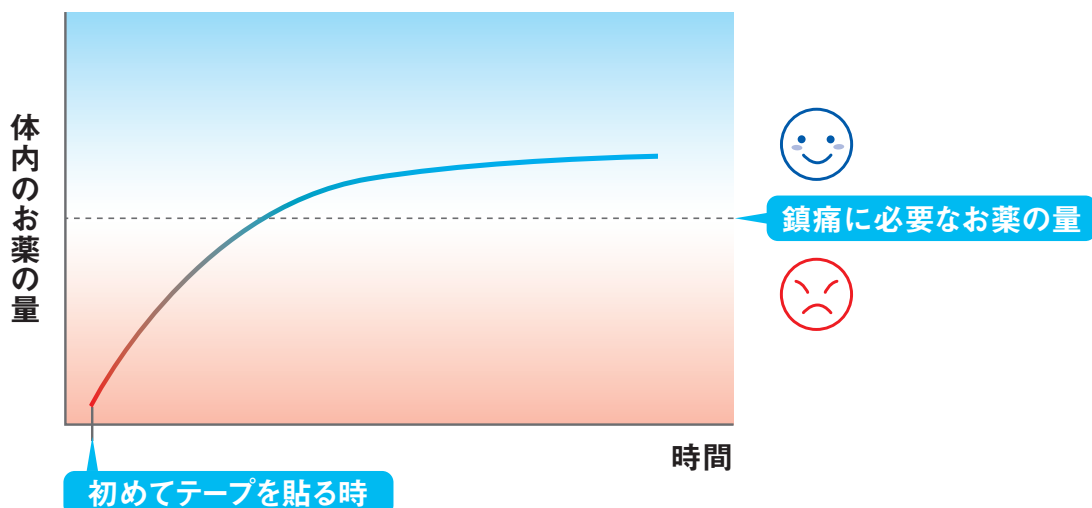
## 治療の目的

- 「痛み治療ノート」を使って目標をたてます。目標の達成を目指して治療を行います。

## 治療効果

- これまで使用した痛み止めのお薬では十分な疼痛管理ができなかったため、ノルスパン<sup>®</sup>テープによる治療を選択しました。
- 薬の効果は人によって異なるため、ノルスパン<sup>®</sup>テープを使用しても痛みが和らげられない場合もあります。
- 鎮痛効果が得られるまで時間がかかります。貼ってから7日後に効果の判定を行い必要に応じてお薬の量を調節します。

### ●初めてテープを貼る時の体内のお薬の量



## 副作用

- 副作用として、吐き気、便秘、ねむけ等がでることがあります。
- 副作用対策としてお薬(吐き気止め等)を出す場合がありますので、指示を守って使用してください。
- 適切に使用されないと、薬物依存、過量投与になる可能性が否定できません。
- 次のような症状が現れた時には、すぐにテープをはがし、担当の医師あるいは病院にご連絡ください。  
 —呼吸が、遅くなる、浅くなる、苦しくなる 等/  
 まぶたや顔、唇が腫れる 等/  
 全身のかゆみや発疹 等

## 他の治療法

- ノルспан®テープ以外の治療の選択肢、併用する治療方法について確認しました。

## 治療の中止

- ノルспан®テープによる治療を中止する場合があります。また、一生続ける治療ではありません。
  - お薬が体に合わない場合(痛みが和らげられない、副作用が強すぎる等)
  - 使い方が守られない場合
  - 薬物依存が疑われる場合

## 必ず守っていただくこと

- 患者さん本人以外は絶対に使用しないでください。
- 他の病院からノルспан®テープを入手しないでください。
- 他人や家族に譲ってはいけません。